



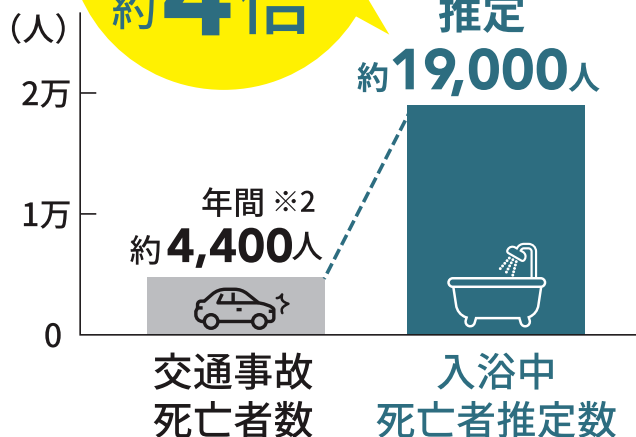
テーマ

交通事故より多い 冬の危険なヒートショック

お風呂に入る前
脱衣室や浴室が
寒～い！



交通事故
死亡者数の
約**4倍**^{※1}

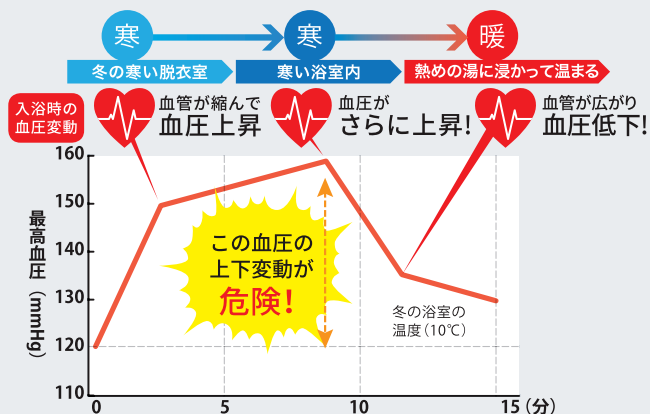


※1 出典：平成29年(2017年)1月25日 消費者庁ニュースリリース「冬季に多発する高齢者の入浴中の事故にご注意ください！」
※2 警察庁「平成25年中の交通事故死者数について」 入浴中の死者数の出典と同年度の交通事故死者数を使用

ヒートショック関連で入浴中に亡くられる方は年間約19,000人もいると推計され、交通事故死亡者数の約4倍強にものぼります。ヒートショックは部屋間の温度差が主な原因のため、窓の断熱などでヒートショックのリスクを未然に抑えることが肝心です。今なら超大型補助金の活用で、かしこく窓の断熱リフォームをするチャンスです！

血圧の上下変動がヒートショックを引き起こす

血圧の変化のイメージ ※出所：枡原 裕 九州芸術工科大学(現：九州大学芸術工学研究院)



暖房の効いたリビングに比べ脱衣室や浴室が寒い...このような部屋間の急激な温度変化は体への負担が大きく、ヒートショックを招く要因になることがあります。ヒートショックとは、急激な温度変化によって血圧が上下に変動すること。脳卒中や心筋梗塞の要因となり、また、それらが転倒や浴槽内での溺死という事故を引き起こす危険があるため冬場は特に注意が必要なんです。

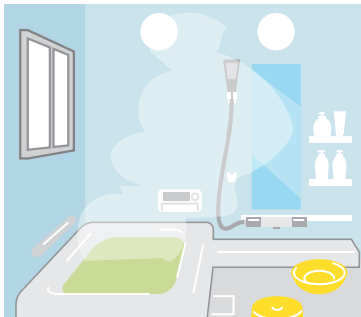
おすすめ対策は裏面へ！

ヒートショックリスク軽減のポイントは「窓」の断熱

ヒートショック対策は、リビングなどの暖かい部屋と、脱衣室、浴室、寝室の温度差をなくすることが第一です。

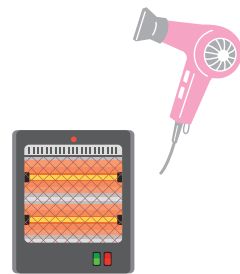
窓の断熱性を高める

脱衣室や浴室の窓を二重窓や、外窓交換をすることで、断熱性がアップします。外の冷気が室内に伝わりにくくなり、すきま風や冷えが軽減されます。



浴室や脱衣室を暖める

浴室が寒くないように、入浴前に浴槽のフタを開けておいたり、熱いシャワーなどで暖めたりすると効果的。また脱衣室にコンパクトな暖房を置くのもおすすめです。髪の毛を乾かしている間なども湯冷めをしないよう暖かくしましょう。



浴室や脱衣室の簡単窓リフォームはこちら！

比べて納得！断熱効果

浴室に断熱窓をつけた効果をシミュレーション動画でチェック▶



取替窓 リプラス 浴室仕様

窓のすきま風や寒さの悩みも、浴室のリフォームと一緒に古い窓も取り替えリフレッシュ。ブラインドイン複層ガラスやフロスト複層ガラスなど外からの視線をカットするガラスもおすすめです。

1窓あたり
約半日～



断熱内窓 (二重窓) インプラス

脱衣室の小窓や浴室の窓におすすめ。今ある窓の内側に新しい窓を取付けるだけ。1窓最短1時間のスピード施工で断熱性がアップして結露も軽減します。浴室仕様のインプラスもご紹介します。

1窓あたり
約1時間～

上記商品も対象になるお得な補助金を要チェック！

窓から省エネリフォーム

超大型補助金

リフォームチャンス到来！

住宅省エネ 2024キャンペーン

令和5年11月2日以降に対象工事に着工するものを対象とします。

窓リフォームで
今ならなんと **最大50%** 相当還元

*制度の適用には条件があります。



補助金について詳しくはこちら

補助金を上手に活用してお得にリフォームしましょう！

※住宅エコポイント制度、復興支援・住宅エコポイント制度、省エネ住宅ポイント制度、次世代住宅ポイント制度、グリーン住宅ポイント制度、こどもみらい住宅支援事業、住宅省エネ2023キャンペーンとの比較で、予算規模が過去最大規模という趣旨です。

お問い合わせはお気軽にどうぞ！